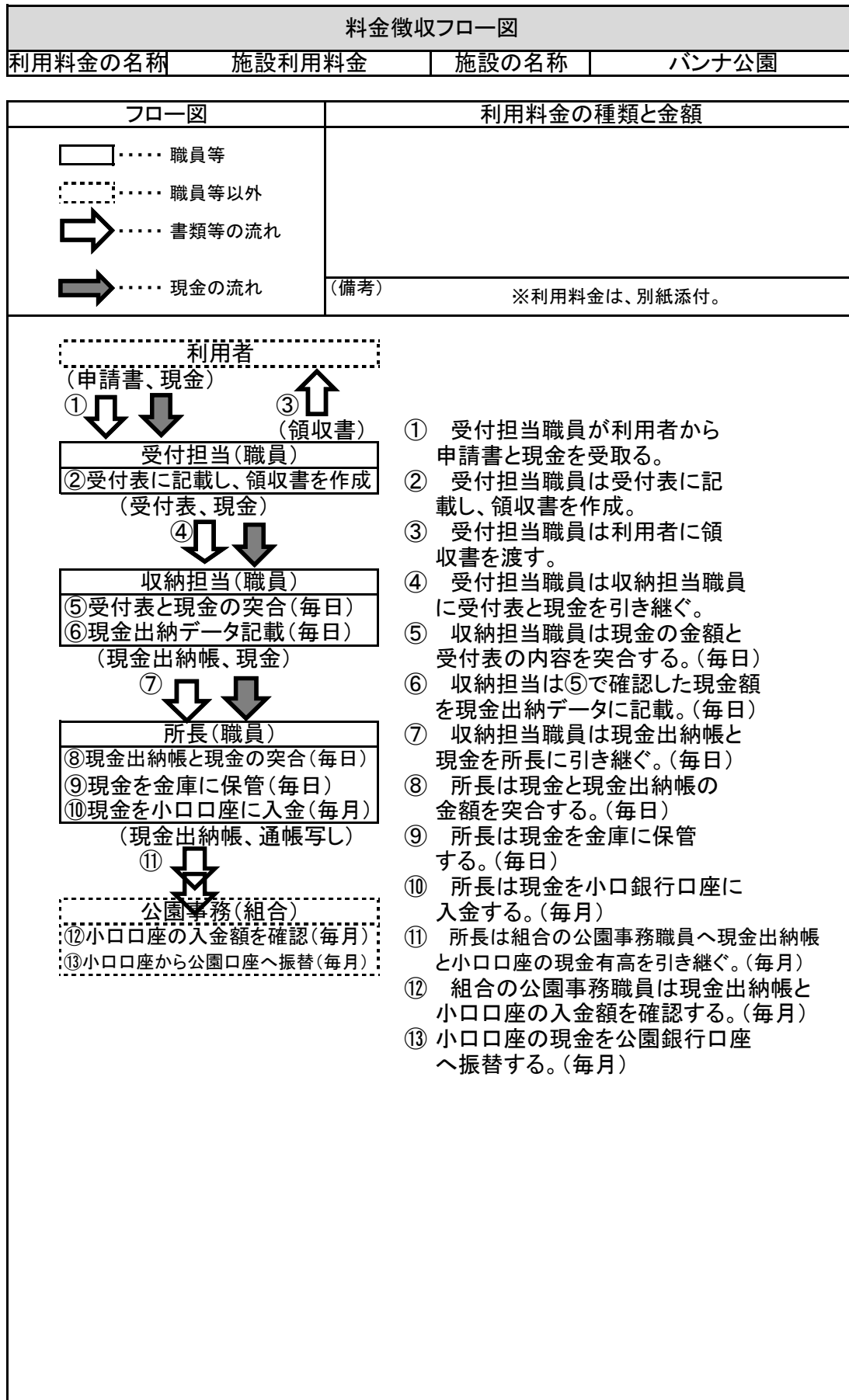




多目的お祭り広場

区分			利用料金				備考
			9 時～13 時	13時～17 時	9 時～17 時	時間外 (1 時間 につき)	
グラウンド	入場料 を徴収 しない 場合	一般・学 生	1, 940円	1, 940円	3, 880円	550円	利用面積が 2 分の 1 以 下の場合の 基準額は、 当該基準額 の 2 分の 1 の額とす る。
		高齢者	960円	960円	1, 920円	270円	
		児童・生 徒	960円	960円	1, 920円	270円	
	入場料を徴収する 場合		入場料を徴収しない場合の一般・学生、 高齢者又は児童・生徒の区分及び時間の 区分に応じた基準額に、徴収する最も高 い入場料の額に100を乗じて得た額を加 算した額				
照明設備	全点灯		1 時間につき 490円				
	2 分の 1 点灯		1 時間につき 240円				
	4 分の 1 点灯		1 時間につき 120円				

- 1 「時間外」とは、9 時前又は17時後に有料公園施設等を利用する場合をいう。
- 2 「児童・生徒」とは、小学校の児童並びに中学校及び高等学校の生徒その他こ
れらに準ずる者をいう。
- 3 「高齢者」とは、65歳以上の者をいう。
- 4 「一般・学生」とは、幼児、児童・生徒及び高齢者以外の者（3 歳未満の者を
除く。）をいう。
- 5 「入場料」とは、入場料、整理料その他名義のいかんを問わず、入場者から徴
収する入場の対価をいう。

種別	単位	基準額
物品の販売その他これに類する行為を行う場合	1 日につき	290円
業として写真を撮影する場合	1 日につき	460円
業として映画を撮影する場合	1 日につき	10,880円
興行を行う場合	1 日100平方メートルにつき	270円
競技会、展示会、博覧会、集会その他これらに類する催しを行う場合	1 日100平方メートルにつき	270円

備考 利用面積が100平方メートルに満たない場合には、その満たない利用面積については、100平方メートルとして計算する。

労働条件等自主点検表

施設名称	バナナ公園	対象年度	令和6年度
指定管理者名	沖縄県緑化種苗協同組合		

※ 次の確認事項について、「指定管理者による確認結果」欄の該当する箇所には○又は必要事項の記載をお願いします。

確認事項	指定管理者による確認結果																					
1 労働条件の明示 労働契約を締結するに当たり、労働時間、賃金、退職（解雇の事由を含む。）、安全衛生等の労働条件を労働者に対し明示していますか。この場合において、労働時間、賃金等に関する事項について書面を交付していますか。 労働契約の締結時には、パートタイム労働者を含むすべての労働者に対し労働時間、賃金、退職（解雇の事由を含む。）、安全衛生等の労働条件を明示しなければなりません。特に、労働契約期間、有期労働契約を更新する場合の基準、始業・終業の時刻、所定時間外労働の有無等、約定賃金の決定、計算、支払の方法及び賃金の締切り、支払の時期等、退職（解雇の事由を含む。）については、書面を交付しなければなりません。（労働基準法（以下「法」という。）第15条）	<table border="1"> <tr> <td>就業規則、労働条件通知書を交付して労働条件全般について明示している</td><td>労働条件全般について口頭で明示するとともに、労働時間、賃金等に関する事項については書面を交付している</td><td>労働条件全般について口頭で明示しているが、書面の交付はしていない</td><td>労働時間、賃金等の労働条件の一部についてのみ口頭で明示している</td><td>労働契約締結時には明示していない</td></tr> <tr> <td>①</td><td>2</td><td>3</td><td>4</td><td>5</td></tr> </table> （3～5については、改善が必要です）	就業規則、労働条件通知書を交付して労働条件全般について明示している	労働条件全般について口頭で明示するとともに、労働時間、賃金等に関する事項については書面を交付している	労働条件全般について口頭で明示しているが、書面の交付はしていない	労働時間、賃金等の労働条件の一部についてのみ口頭で明示している	労働契約締結時には明示していない	①	2	3	4	5											
就業規則、労働条件通知書を交付して労働条件全般について明示している	労働条件全般について口頭で明示するとともに、労働時間、賃金等に関する事項については書面を交付している	労働条件全般について口頭で明示しているが、書面の交付はしていない	労働時間、賃金等の労働条件の一部についてのみ口頭で明示している	労働契約締結時には明示していない																		
①	2	3	4	5																		
2 就業規則 就業規則（労働時間、休日、休憩、休暇、賃金の定め方及び支払方法、退職（解雇の事由を含む。）等、労働条件の具体的細目を定めた規則）を作成していますか。また、就業規則の内容が実際の勤務の状況に合っていますか。 常時10人以上の労働者（パートタイム労働者を含む。）を使用する事業場では、就業規則を作成し、所轄労働基準監督署長へ届け出なければなりません。（法第89条） また、常時各作業場の見やすい場所への掲示、備付け、書面の交付又は電子機器の設置等により労働者に周知させなければなりません。（法第106条）	<table border="1"> <tr> <td rowspan="2">常時使用する労働者は10人未満である。</td><td colspan="4">常時使用する労働者が10人以上である</td></tr> <tr> <td>作成して監督署に届け出てあり、内容も実情に合っている</td><td>作成して監督署に届け出てあるが、内容が実情に合っていない</td><td>作成してあるが、監督署に届け出ていない</td><td>作成していない</td></tr> <tr> <td>1</td><td>②</td><td>3</td><td>4</td><td>5</td></tr> </table> （3～5については、改善が必要です）	常時使用する労働者は10人未満である。	常時使用する労働者が10人以上である				作成して監督署に届け出てあり、内容も実情に合っている	作成して監督署に届け出てあるが、内容が実情に合っていない	作成してあるが、監督署に届け出ていない	作成していない	1	②	3	4	5							
常時使用する労働者は10人未満である。	常時使用する労働者が10人以上である																					
	作成して監督署に届け出てあり、内容も実情に合っている	作成して監督署に届け出てあるが、内容が実情に合っていない	作成してあるが、監督署に届け出ていない	作成していない																		
1	②	3	4	5																		
3 所定休日 所定休日をどのように定めていますか。 休日は少なくとも毎週1日又は4週間を通じ4日を与えなければなりません。（法第35条）	<table border="1"> <tr> <th colspan="4">週休2日制</th><th colspan="2">週休1日制</th><th>その他</th></tr> <tr> <td>完全（毎週）</td><td>月3回</td><td>隔週</td><td>月1～2回</td><td>週1日</td><td>4週4日</td><td>4週3日以下</td></tr> <tr> <td>①</td><td>2</td><td>3</td><td>4</td><td>5</td><td>6</td><td>7</td></tr> </table> （7については、改善が必要です）	週休2日制				週休1日制		その他	完全（毎週）	月3回	隔週	月1～2回	週1日	4週4日	4週3日以下	①	2	3	4	5	6	7
週休2日制				週休1日制		その他																
完全（毎週）	月3回	隔週	月1～2回	週1日	4週4日	4週3日以下																
①	2	3	4	5	6	7																

確認事項	指定管理者による確認結果																						
4 年次有給休暇 年次有給休暇についてはどのように取り扱っていますか。 年次有給休暇は、6ヶ月間継続勤務し、全労働日の8割以上を出勤した労働者については10労働日、以降1年ごとに付与日数を増加しなければなりません。(法第39条)	<table border="1"> <tr> <td>法定どおりの年次有給休暇を与えている</td><td>年次有給休暇を与えているが、付与日数が法定を下回っている</td><td>年次有給休暇を与えていない</td></tr> <tr> <td>①</td><td>2</td><td>3</td></tr> </table> (2、3については改善が必要です) ※年次有給休暇の法定の付与日数表(週所定労働日数が5日以上、又は、週所定労働時間が30時間以上の労働者の場合。) <table border="1"> <tr> <td>勤続年数</td><td>0.5</td><td>1.5</td><td>2.5</td><td>3.5</td><td>4.5</td><td>5.5</td><td>6.5以上</td></tr> <tr> <td>付与日数</td><td>10</td><td>11</td><td>12</td><td>14</td><td>16</td><td>18</td><td>20</td></tr> </table> ※なお、月30時間未満の労働者は比例付与することとされています。	法定どおりの年次有給休暇を与えている	年次有給休暇を与えているが、付与日数が法定を下回っている	年次有給休暇を与えていない	①	2	3	勤続年数	0.5	1.5	2.5	3.5	4.5	5.5	6.5以上	付与日数	10	11	12	14	16	18	20
法定どおりの年次有給休暇を与えている	年次有給休暇を与えているが、付与日数が法定を下回っている	年次有給休暇を与えていない																					
①	2	3																					
勤続年数	0.5	1.5	2.5	3.5	4.5	5.5	6.5以上																
付与日数	10	11	12	14	16	18	20																
5 健康診断 定期健康診断を実施していますか。 常時使用する労働者については、年1回定期的に健康診断を行わなければなりません。(労働安全衛生規則第44条) なお、深夜業を含む業務等に常時従事する労働者に対しては6月以内ごとに1回定期的に健康診断を行わなければなりません。(労働安全衛生規則第45条)	<table border="1"> <tr> <td>毎年1回以上定期的に行っている</td><td>年によって行ったり行わなかったり一定しない</td><td>行ったことがない</td></tr> <tr> <td>①</td><td>2</td><td>3</td></tr> </table> (2、3については、改善が必要です)	毎年1回以上定期的に行っている	年によって行ったり行わなかったり一定しない	行ったことがない	①	2	3																
毎年1回以上定期的に行っている	年によって行ったり行わなかったり一定しない	行ったことがない																					
①	2	3																					
6 最低賃金 地域別最低賃金以上の賃金を支払っていますか。 なお、地域別最低賃金には次の賃金は含まれません。 ①臨時に支払われる賃金(結婚手当等) ②1月を超える期間ごとに支払われる賃金(賞与等) ③所定外・休日・深夜の労働に対して支払われる割増賃金 ④精皆勤手当、通勤手当、家族手当	<table border="1"> <tr> <td>支払っている</td><td>支払っていない</td></tr> <tr> <td>①</td><td>2</td></tr> </table> (2については、改善が必要です。) 【支払う賃金(A)と地域別最低賃金(B)の比較方法】 (時給制の場合) 時間によって定められた賃金 (時間給) ≥ 地域別最低賃金 (時間額) (A) (B) (日給制、週給制、月給制の場合) 日、週、月等によって定められた賃金 ÷ 当該期間における所定労働時間数(日、週、月によって所定労働時間が異なる場合には、それぞれ1週間、4週間、1年間の平均所定労働時間数) ≥ 地域別最低賃金 (時間額) (A) (B)	支払っている	支払っていない	①	2																		
支払っている	支払っていない																						
①	2																						

確認事項	指定管理者による確認結果																												
7 割増賃金 時間外労働・休日労働又は深夜労働を行わせた場合に、その時間に対する割増賃金は、どのように支払っていますか。 法定労働時間を超える時間外労働については、2割5分以上、法定休日における休日労働については3割5分以上、深夜労働(午後10時から翌日午前5時の間の労働をいいます。)については2割5分以上の割増賃金を支払わなければなりません。(法第37条) ※割増賃金の基礎となる賃金には、家族手当、通勤手当、別居手当、子女教育手当、住宅手当、臨時に支払われた賃金、一箇月を超える期間ごとに支払われる賃金は算入しません。	時間外労働・深夜労働について <table><tr><td>2割5分以上の割増率にしている</td><td>2割5分未満の割増率にしている</td><td>時間外労働又は深夜労働をさせているが、支払っていない</td></tr><tr><td>①</td><td>2</td><td>3</td></tr></table> (2、3については改善が必要です。) 休日労働について <table><tr><td>3割5分以上の割増率にしている</td><td>3割5分未満の割増率にしている</td><td>休日労働をさせているが、支払っていない</td></tr><tr><td>①</td><td>2</td><td>3</td></tr></table> (2、3については改善が必要です。)	2割5分以上の割増率にしている	2割5分未満の割増率にしている	時間外労働又は深夜労働をさせているが、支払っていない	①	2	3	3割5分以上の割増率にしている	3割5分未満の割増率にしている	休日労働をさせているが、支払っていない	①	2	3																
2割5分以上の割増率にしている	2割5分未満の割増率にしている	時間外労働又は深夜労働をさせているが、支払っていない																											
①	2	3																											
3割5分以上の割増率にしている	3割5分未満の割増率にしている	休日労働をさせているが、支払っていない																											
①	2	3																											
8 雇用保険、健康保険及び厚生年金保険の加入 当該指定管理施設で勤務する従業員は、雇用保険、健康保険及び厚生年金保険に加入していますか。 また、未加入者がいる場合は、その理由を記載してください。 ※調査対象となる従業員は、雇用形態(正社員、派遣社員、契約社員、パートタイマー等)に関わらず、当該指定管理施設において指定管理者と雇用契約を結ぶ指定管理業務にもっぱら従事する従業員(令和〇年3月末における業務全体のうち、当該業務の割合が概ね50%以上の従業員)となります。	<table><tr><th rowspan="2">従業員数</th><th colspan="2">雇用保険</th><th colspan="2">健康保険</th><th colspan="2">厚生年金保険</th></tr><tr><th>加入数</th><th>未加入数</th><th>加入数</th><th>未加入数</th><th>加入数</th><th>未加入数</th></tr><tr><td>11</td><td>11</td><td>0</td><td>5</td><td>6</td><td>5</td><td>6</td></tr></table> <table><tr><th>保険の名称</th><th>未加入者がいる理由</th></tr><tr><td>雇用保険</td><td></td></tr><tr><td>健康保険</td><td>就労時間が18時間～24時間の為</td></tr><tr><td>厚生年金保険</td><td>就労時間が18時間～24時間の為又年金受給者の為</td></tr></table>	従業員数	雇用保険		健康保険		厚生年金保険		加入数	未加入数	加入数	未加入数	加入数	未加入数	11	11	0	5	6	5	6	保険の名称	未加入者がいる理由	雇用保険		健康保険	就労時間が18時間～24時間の為	厚生年金保険	就労時間が18時間～24時間の為又年金受給者の為
従業員数	雇用保険		健康保険		厚生年金保険																								
	加入数	未加入数	加入数	未加入数	加入数	未加入数																							
11	11	0	5	6	5	6																							
保険の名称	未加入者がいる理由																												
雇用保険																													
健康保険	就労時間が18時間～24時間の為																												
厚生年金保険	就労時間が18時間～24時間の為又年金受給者の為																												

指定管理者制度導入施設 モニタリングシート

施設名称	バンナ公園	対象年度	令和6年度
------	-------	------	-------

【 目 次 】

I. 履行確認・評価

1. 維持管理業務	1
(1) 清掃	
(2) 保守・点検	
(3) 保安・警備	
(4) 小規模修繕	
(5) 備品購入	
(6) 防犯・防災対策	
(7) 料金徴収業務	
2. 運営業務	5
(1) 利用実績	
1) 利用者数等（又は入居率等）	
2) 施設稼働率	
3) 教室・イベント等参加者数	
(2) 運営企画	
(3) 受付・接客	
(4) 広報	
(5) 情報管理	
3. 自主事業	8

II. サービスの質の確認・評価 10

III. 財務状況の確認・評価 12

1. 事業収支
 - (1) 収入
 - (2) 支出
2. 経営分析指標

IV. 総合評価 16

1. 目標
2. 評価結果

附表 経営状況分析シート 19

指定管理者制度導入施設 モニタリングシート

施設名称	バナナ公園		対象年度	令和6年度
指定管理者	沖縄県緑化種苗協同組合 指定期間: 令和2年4月～令和7年3月		所管課	土木建築部 都市公園課

I. 履行確認・評価

1. 維持管理業務

(1) 清掃

R6事業計画	実施主体 (該当者に○印)		実施内容		整合性の検証	現状分析・課題
	指定管理者	委託業者	(事業報告書)	(現地確認)		
〈日常清掃〉 快適・清潔な公園を維持する為、トイレや駐車場、主要園路及び各施設の清掃を実施し美観を維持する。	○		日常的な清掃を基本とし、祝祭日の前後など利用頻度が多い場合は適宜清掃を実施。清掃回数を増やす等、常に清潔で快適な空間を提供できるよう努めた。トイレや施設内・屋外の清掃業務管理日報を作成し、ゴミ収集や清掃業務内容を日常と定期(週・月)に分けて実施した。	報告書により確認。 仕様書に従い適切に実施している。	事業計画通りに適切に実施している。	前年度に引き続き感染対策を意識した清掃業務を遂行。マスク、ゴム手袋を着用し、消毒除菌をこまめに行い、施設を清掃する際や施設の利用があった場合は十分な換気と消毒を施すなど徹底した感染対策を実施した。また、定期的に実施する高圧洗浄機による園路・施設清掃は、比較的用户者の少ない雨天時を中心に、滑りやすい箇所を事前に調査し優先順位をつけて効率よく実施できた。頻繁に入港する大型客船や、団体観光客を乗せたバスが増加したため、清掃時間と重ならないように入港スケジュールや観光バスの動きも意識しながら清掃業務を実施。
〈定期清掃〉 園内各施設、屋外も含め、清潔で快適な環境が保てるよう、定期的に清掃を実施する。	○		各施設内の床面、窓・ドアガラス洗浄等を週1回実施。また、展望台、東屋、園路、排水溝等の高圧洗浄を定期的に行う。強風や大雨後は速やかに園全体の清掃及び各施設の洗浄を実施。また、法定検査に基づき、浄化槽汲み取り(20箇所)・貯水槽(5箇所)の清掃を年1回実施し清潔で安心な環境維持に努めた。	報告書により確認。 仕様書に従い適切に実施している。	事業計画通りに適切に実施している。	一方で、人的体制や時間的制約等により、常に園内全域に十分な清掃が行き届いていないとは言えず、快適な環境維持には課題が残った。今後は日常清掃の一部を専門事業者へ委託し、職員による巡回・日常対応と併せて、役割分担による効率的な清掃体制の構築を目指す。

(2) 保守・点検

R6事業計画	実施主体 (該当者に○印)		実施内容		整合性の検証	現状分析・課題
	指定管理者	委託業者	(事業報告書)	(現地確認)		
園内巡回点検や、遊具の日常・定期点検及び建物や付属設備等の保守点検を実施し機能保全を図る。	○	○	開園前、日常巡回点検と月2回の遊具・施設の定期点検、年1回の遊具定期点検を実施。専門知識や技術が必要とされる浄化槽、貯水槽、消防・電気保安業務等は専門業者による保守点検を実施。	報告書により確認。 仕様書に従い適切に実施している。	事業計画通りに適切に実施している。	徹底した点検業務を行い、さらにチェックリストをもとに不具合箇所の早期発見や機能改善に努めた。また管理者立会いの下、専門業者における定期点検により遊具や施設の状態把握に努めた。 今後も、経年劣化に伴う対応が求められる施設・設備が複数存在することから、継続的かつ効率的な保守体制の構築が重要である。

(3) 保安・警備

R6事業計画	実施主体 (該当者に○印)		実施内容		整合性の検証	現状分析・課題
	指定管理者	委託業者	(事業報告書)	(現地確認)		
日常的な公園の安全として、事件や事故を未然に防止するため、常駐警備を一箇所以上設置し園内警備を実施する。	○	○	昼夜の巡回警備を1日7回以上実施。また利用者への声かけ等で情報収集を行い、不審者・不審物不具合等の早期発見に努めた。また、夜間の外灯点検、施設・ゲートの施錠確認等で安全と秩序を維持することが出来た。	報告書により確認。仕様書に従い適切に実施している。	事業計画通りに適切に実施している。	日中警備、夜間警備の連絡体制を密にし、安全管理・防犯面での強化を図り、事件・事故等の未然防止に努め徹底した安全管理や巡回、利用者への積極的な声掛けを実施し、事件・事故等の未然防止及び、保安維持に努めた。 一方で、園内は広大であり、人員による巡回には限界があることから、今後は防犯カメラ等を含む機械警備の導入・活用を進め、人的警備と併せたハイブリッド型の警備体制の構築が課題である。

(4) 小規模修繕

R6事業計画	実施主体 (該当者に○印)		実施内容		整合性の検証	現状分析・課題
	指定管理者	委託業者	(事業報告書)	(現地確認)		
建物及び付属設備の日常、定期点検を踏まえ、危険と判断した場合は、適切な処置を講じ、危険度・必要等で優先順位を決め実施する。	○		公園管理者の点検だけでなく、公園利用者の情報にも耳を傾け、不具合等の早期発見、対応に努め、施設の特性や劣化・損耗状況を把握し、迅速な修繕を心掛け利用者が安全で快適に利用出来るよう努めた。	報告書により確認。仕様書に従い適切に実施している。	事業計画通りに適切に実施している。	専門業者における健全度調査結果に基づき修繕を実施。危険性や必要性を考慮し、優先順位を決め迅速な修繕を行い利用者の安全保持に努めた。また、管理者が専門業者から修繕方法を細かく指導してもらうことにより、技術料・出張費等のコスト削減を図った。一方施設老朽化の影響に伴い、埋設水道管の破損により予期せぬ修繕費の出費等もあり、当初計画していた修繕費を上回ってしまった。今後埋設インフラの老朽化(健全度)調査は必要と考えられる。 設備の老朽化により、埋設配管等の突発的な破損が発生し、当初の修繕予算を超過する事例があった。今後は、健全度調査を定期的の実施することで、老朽インフラの状態を的確に把握し、予防的な修繕計画の策定が求められる。また、専門業者からの技術的な助言を活用しながら、迅速かつ効率的な修繕対応と費用の最適化を図る必要がある。

(5) 備品購入

R6事業計画	実施主体 (該当者に○印)		実施内容		整合性の検証	現状分析・課題
	指定管理者	委託業者	(事業報告書)	(現地確認)		
各年度で貸与備品照会として希望購入備品リストを作成し提出	○		備品管理台帳を作成し、使用状況、頻度等を整理し、業務に支障がないよう修繕、買換え、購入等を予算の範囲内で実施。	報告書により確認。仕様書に従い適切に実施している。	事業計画通りに適切に実施している。	現状では以下のような課題が顕在化しています。 ・故障・破損により使用できない備品が複数引き継がれている ・前指定管理者が本来廃棄すべき備品が多数残存している ・所在不明の備品が存在しており、備品台帳との乖離が見られる ・故障品・廃棄予定備品が整理されず放置されており、収納スペースを圧迫している さらに、本来これらの備品情報は、指定管理者公募時において明示されるべき基本情報であるが、実態との乖離が大きく、適切な引継ぎが行われたとは言い難い状況である。今後は、備品の実地確認と台帳の照合を通じて、備品管理体制の再構築と不要備品の整理・廃棄を計画的に進める必要がある。

(6) 防犯・防災対策

事業計画	実施主体 (該当者に○印)		実施内容		整合性の検証	現状分析・課題
	指定管理者	委託業者	(事業報告書)	(現地確認)		
危険を予知するという視点で巡回を行い、作業スタッフも作業箇所周辺の異変や異常、施設の不具合等がないかなど多くの目で確認を行い、事故や犯罪、災害の未然防止に努める。	○		利用者が日常的に安心 安全に利用できる環境の確保に努め、自然災害や火災等、緊急時の対応として防火・防災計画書を作成し、消防訓練を実施。救命処置が速やかに行えるようAEDを常備。また、危険生物に対する応急処置の講習会を開催し、現場スタッフの意識を高めた。	報告書により確認。仕様書に従い適切に実施している。	事業計画通りに適切に実施している。	災害や緊急時等に対応する勉強会を行い、関係機関との連携を図りながら防犯・防災対策に努めた。 現場レベルでの対応力向上や迅速な情報連携体制の強化が課題として残る。また、危機管理マニュアルの実効性や定期的な更新体制の整備、危険生物や自然災害への対応に必要な備品・資機材の点検と配置状況の把握も含め、より実践的かつ継続的な体制づくりが求められる。

(7)料金徴収業務

R6事業計画	実施主体 (該当者に○印)		実施内容		整合性の検証	現状分析・課題
	指定管理者	委託業者	(事業報告書)	(現地確認)		
利用料金の徴収を行う立場を正しく認識し、安全、確実、適正な処理を行う体制を確立し、利用料金の徴収業務を行う。	○		原則窓口での現金徴収とし、占用、減免審査については条例の規定に基づき公平・公正に対応し、収受の記録や報告等を適正に実施。	報告書により確認。仕様書に従い適切に実施している。	事業計画通りに適切に実施している。	利用料の徴収においては、常に公益性を持っていることを念頭に適正な徴収業務に努めた。 今後は、収受記録や報告業務の正確性と効率化を図るため、会計ソフトと連動した運用体制を構築し、データの一元管理と情報共有に取り組む。これらはヒューマンエラーによる課金ミスや二重請求の防止にも寄与し、事務処理の信頼性・透明性の向上につなげる。

※必要に応じて項目を追加・削除して記入すること。

※「事業計画」欄は、当初の年間事業計画を記載するものとし、変更した場合には変更後の内容も記載すること。

※「現状分析・課題」欄は具体的に記入すること。

1. 維持管理業務 取組改善案	【清掃】 一部業務を専門事業者へ委託し、職員との役割分担による効率的な清掃体制を構築する。利用者の増加や清掃が行き届きにくい場所への対応強化も進める。 【保守・点検】 経年劣化への予防的対応を重視し、継続的・計画的な保守体制の構築を図る。点検記録のデジタル化や優先順位付けによる効率化を推進する。 【保安・警備】 機械警備と人的巡回を組み合わせたハイブリッド体制を構築する。 【小規模修繕】 老朽化インフラの健全度調査を定期的実施し、突発的修繕費の抑制と計画的対応を両立させる。専門業者の助言を活用し、技術的精度とコスト抑制を図る。 【備品管理】 故障・所在不明・廃棄未実施の備品の整理を行い、備品台帳の精度を高める。引継ぎ時に適切な情報提供がなかった課題も踏まえ、精査体制を整備する。 【防犯・防災】 関係機関との連携体制を強化し、防災計画や訓練の定期的見直しと実施を推進する。危険生物対応や資機材の配置状況も点検する。 【料金徴収】 会計ソフトと連携した収受管理体制により、処理の効率化と信頼性向上を図る。記録の一元化と誤請求防止にも取り組む。
--------------------	---

※「1. 維持管理業務」の各項目の「現状分析・課題」等を踏まえて、現年度(令和7年度)の主な取組改善案を記入すること。

2. 運営業務

(1) 利用実績

1) 利用者数等

		令和5年度実績	令和6年度事業計画 (目標値)	令和6年度実績	整合性の検証		現状分析 ・課題
					前年比	計画比	
利用者数	個人利用者数	387,583	400,000	331,065	85%	83%	天候不良や夏の猛暑により個人利用が前年を下回る結果となった。また国内の団体観光客は物価高の影響に伴い減少傾向にあるがインバウンドの団体利用者は徐々に増加しつつある。 これまでの利用者数カウント方法は概算的で正確性に課題があり、実数との乖離が生じている可能性がある。今後は、カウント方法を見直し、都市公園課とも協議の上、より精度の高い記録体制を整備したい。その過程で算出値が大幅に減少する可能性もあり、過年度実績との比較や報告上の取扱いについては慎重な対応が必要となる。
	団体利用者数	84,363	60,000	134,415	159%	224%	
	計	471,946	460,000	465,480	99%	101%	

評価(①利用状況)

A

【評価基準(①利用状況)】

目標値に対する達成率

S : 110%以上

A : 100%以上、110%未満

B : 80%以上、100%未満

C : 80%未満

[1] 入居率等 ※利用者数等で測れない施設は「1) 利用者数等」に代えて記載

		令和5年度実績	令和6年度事業計画 (目標値)	令和6年度実績	整合性の検証		現状分析 ・課題
					前年比	計画比	
入居率		—	—	—	#####	#####	

入居率等を①利用状況の評価項目とする場合に本欄を使用する。

評価(①利用状況)

【評価基準(①利用状況)】

目標値に対する達成率

S : 110%以上

A : 100%以上、110%未満

B : 80%以上、100%未満

C : 80%未満

2) 施設稼働率

		令和5年度実績	令和6年度事業計画 (目標値)	令和6年度実績	整合性の検証		現状分析 ・課題
					前年比	計画比	
施設名 多目的お祭り広場 (午前4h、午後4h、 時間外1h×4) 1日稼働時間＝12h	利用者数	5123	5000	3427	67%	69%	雨天時及びその後、悪天候の場合の水はけが悪く雨天後のキャンセルが数日続く場合がある。また、平日の日中はほとんど利用がなく、社会人が就業後に利用。土日祝日に関しては午前・午後の利用が多い。
	平均稼働率	21%	20	27%	129%	1.4%	
	平日稼働率	12%	12	14%	113%	1.2%	今後は、予約から利用までの手続きを円滑に行える仕組みを整備するとともに、空き状況の可視化や利便性の向上を通じてキャンセル率の低減を図ることが課題となる。
	土日祝日別稼働率	38%	35	40%	105%	1.1%	

施設稼働率を①利用状況の評価項目とする場合に本欄を使用する。

評価(①利用状況)

C

【評価基準(①利用状況)】

目標値に対する達成率

S : 110%以上

A : 100%以上、110%未満

B : 80%以上、100%未満

C : 80%未満

3) 教室・イベント等参加者実績

単位:人

	内容	令和5年度実績	令和6年度事業計画 (目標値)	令和6年度実績	整合性の検証		現状分析 ・課題
					前年比	計画比	
教室	通年事業(昆虫館・活性化プログラム)	10,646	8,000	10,243	96%	128%	学校行事(遠足など)他、インバウンドの観光利用など多くの公園利用があり全体的に増加傾向となっている。昆虫館においてもSNSやイベント、各メディアの情報発信により県内外の利用者増加に繋がった。
	観察会、講習会、学習会	553	500	588	106%	118%	
イベント	通年事業(セグウェイツアー)	659	650	569	86%	88%	これまで自ら継続的に情報を発信できる専用ツール(SNSアカウントや公式サイトなど)を持っておらず、広報体制は限定的であった。そのため、イベントや講座の内容が一部の参加層に留まっており、参加者の属性や層が偏る傾向が続いていた。今後は、媒体の整備と発信力の強化を通じて、より幅広い層へのアプローチが必要である。
	健康WK、慰霊祭、ロードレース、緑化祭、遠足等	8,210	7,000	8,258	101%	118%	
計		20068	16150	19658	98%	122%	

(2) 運営企画

事業計画	実施内容		整合性の検証	現状分析・課題
	(事業報告書)	(現地確認)		
〈開館日数〉	361	報告書により確認。 仕様書に従い適切に実施している。	事業計画通りに適切に実施している。	台風3・21号の影響により終日閉園 (7/23～7/25、10/31)
〈開園時間〉 (駐車場利用可能時間)	7～21時			

(3) 受付・接客

事業計画	実施主体 (該当者に○印)		実施内容		整合性の検証	現状分析 ・課題
	指定管理者	委託業者	(事業報告書)	(現地確認)		
公園管理事務所で 行うものとし、日中 は職員等を1名以 上配置し、苦情・相 談については、管 理事務所において 公園管理者が随時 対応する。	○		予約受付や利用申請、許可、付与までの手続きを条例に照らして、管理事務所にて適正に実施した。また、苦情や意見・要望等については利用者の視点に立った丁寧な対応を心がけ迅速に対処した。	報告書により確認。 仕様書に従い適切に実施している。	事業計画通りに適切に実施している。	利用者の意見やニーズを積極的に取り入れ、利便性の向上と利用促進を図る事ができていた。 現在の管理事務所では、利用者との接点が少なく、公園の案内業務は限られている。受付場所の移転を含め、より効果的・効率的な運営に努める。

(4) 広報

事業計画	実施主体 (該当者に○印)		実施内容		整合性の検証	現状分析 ・課題
	指定管理者	委託業者	(事業報告書)	(現地確認)		
HPにおいて、イベントや公園の旬な情報の提供、インターネットの情報サイトや旅行雑誌等を利活用した情報発信。【新規】SNSでの公式アカウント作成	○		自主事業イベントの地域新聞、地元情報誌への掲載。また旅行情報誌等のマスメディアに対する本公園の情報更新を行った。公園内掲示板等を利用し積極的に公園情報の発信を行った。管理事務所への電話による問い合わせへも丁寧に対応した。	報告書により確認。 仕様書に従い適切に実施している。	事業計画通りに適切に実施している。	新聞等への情報掲載、テレビやラジオでの情報発信は例年通り安定して行うことができたが、SNSがうまく活用できなかった。 2025年4月にウェブサイトを開開(ティザーサイト)し、9月ごろを目処に本サイトを公開する予定である。また、併せてSNSの運用も開始する。なお、Googleビジネスに公式として登録されていた管理者不明のウェブサイトは訂正した。しかし、前管理者の開設(2012年)したfacebookは、ログイン情報が不明のため引き継ぎができなかったため、運用方法の検討中となっている。

(5) 情報管理

事業計画	実施主体 (該当者に○印)		実施内容		整合性の検証	現状分析 ・課題
	指定管理者	委託業者	(事業報告書)	(現地確認)		
基本協定書第21条に基づき、関係法令を遵守し、適切に実施している。	○		沖縄県個人情報保護条例及びその他法令を遵守するとともに、個人情報保護方針を作成し、個人情報の保護に努めた。	報告書により確認。 仕様書に従い適切に実施している。	事業計画通りに適切に実施している。	個人情報の取り扱いや保護等について、適正に管理を行った。 今後とも適切な情報管理を徹底実施する。

3. 自主事業

事業計画	実施主体 (該当者に○印)		実施内容		整合性の検証	現状分析 ・課題
	指定管理者	委託業者	(事業報告書)	(現地確認)		
■世界の昆虫館特別企画 虫の日イベント	○		6月4日は「虫の日」。本来6月4日が虫の日なのだが、平日という事もあり集客が見込めなかったため、日曜日に開催する運びとなった。しかし、当月の日曜日は催し物が多かったため最終日曜日に開催決定した。	報告書により確認。 仕様書に従い適切に実施している。	事業計画通りに適切に実施している。	前回の虫の日同様、大人の入館者を対象とし公園アンケートに協力していただくが入館料を半額に、また一緒に入館される未就学児や児童・生徒には昆虫めりえコーナーも設置。午後からはスタッフと一緒に蝶園まで足を運び昆虫観察ビンゴゲームも実施。収集したアンケート及び来館者の話によると「毎年の開催希望」の声が多く「年に数回は開催してほしい」「観察会がとても楽しかったので単体で開催してほしい」などイベントに対する評価も上々であった。
■世界の昆虫館夏休み特別企画 親子で昆虫図画工作 ① 昆虫キラキラシールづくり	○		小学校の夏休みに合わせ、パンナ公園世界の昆虫館と絡めたイベントを開催、夏休みの図画工作提出を前提に企画した。	報告書により確認。 仕様書に従い適切に実施している。	事業計画通りに適切に実施している。	夏休み期間中の2回に分けて行い7/28は昆虫のキラキラシールづくりを開催。集まった31名の小学生とパンナ公園スタッフと共に気に入りの昆虫シールを制作した。シールづくりは初めての試みであったが、子供も父兄も興味津々で、さまざまなモチーフの昆虫シールを制作。「こんな作り方動画でも見たことない！」と今の子供らしい感想も飛び出した。参加者からは大好評だった。
■童謡の日コンサート	○	○	7月1日の「童謡の日」にちなみ、毎年恒例となっている「童謡の日コンサート」を開催。市民ママさんコーラスサークル「まみーず」共催。	報告書により確認。 仕様書に従い適切に実施している。	事業計画通りに適切に実施している。	コロナ禍におけるイベント自粛以降4年ぶりの開催。会場にはおよそ150人が集まった。まみーずのメンバーと地元の子どもたち、参加者で多くの童謡や唱歌を歌い、見学に来ていた市内在住のジャズシンガー「齋藤梯子」さんも飛び入り参加して、本人も大好きだという「ふるさと」を歌うと、観客から大きな拍手が送られた。子ども連れの参加者からは、「いつも歌っている曲が多かったので、子どもと一緒に楽しく歌えました。来年もぜひ開催してください」と話していた。
■世界の昆虫館夏休み特別企画 親子で昆虫図画工作 ② カブトムシ3Dパズルづくり	○		小学校の夏休みに合わせ、パンナ公園世界の昆虫館と絡めたイベントを開催、夏休みの図画工作提出を前提に企画した。	報告書により確認。 仕様書に従い適切に実施している。	事業計画通りに適切に実施している。	石垣市の小学校夏休みが最終日であったのに加え、対象を高学年に設定したため申し込みがなく、止む無く中止となった。
第9回 健康づくりウォーキング	○	○	石垣市民憲章推進協議会主催、パンナ公園は共催として参加。	報告書により確認。 仕様書に従い適切に実施している。	事業計画通りに適切に実施している。	恒例の開催となったウォーキングイベント。125名の申し込みがあったが、当日はあいにくの雨模様となり参加者は75名。3カ所のチェックポイント及び給水所を設け通過、健康状態の確認をするなど参加者サポートにも力を入れた。また、終了後にはお楽しみ抽選会も開催。悪天候ではあったが楽しいウォーキングイベントとなった。

※「事業計画」欄は、当初の年間事業計画を記載するものとし、変更した場合には変更後の内容も記載すること。

※「現状分析・課題」欄は具体的に記入すること。

2. 運営業務 3. 自主事業 取組改善案	運営業務に至っては前年同様滞りなく業務遂行したが、広報がほとんど機能しておらず、猛省すべき結果となった。自主事業に関しては開催されたイベントに関しての不満の声はなく、次回も楽しみにしているとの声が多い中、昆虫館頼りのイベントが多かったため、幅広い年齢層に向けた自主事業計画の見直しが必要とされる。 これまで、継続的に情報を届けるための専用ツール(公式ウェブサイトやSNSアカウントなど)を自前で保有しておらず、発信手段は限られていた。その影響により、イベントや講座の参加者は特定の層に偏り、多様な利用者への訴求には至っていなかった。今後は、媒体環境の整備と情報発信力の向上に加え、観光協会への加盟をはじめとする地域団体との連携を強化し、広域的な周知と新たな来園者層の開拓を進めることが重要である。また、単発にとどまらない継続的なイベント実施を通じて、施設の認知度を高め、定着的な利用促進にもつなげていく必要がある。
-----------------------------	---

※「2. 運営業務」「3. 自主事業」の各項目の「現状分析・課題」等を踏まえて、現年度(令和7年度)の主な取組改善案を記入すること。

Ⅱ. サービスの質の確認・評価

アンケート実施方法		巡回時・イベント時など		回答者数		198	アンケート内容		別紙参照	
評価項目		第三者(利用者等)評価				指定管理者	現状分析・課題			
		令和5年度評価	令和6年度目標	令和6年度評価						
維持管理業務	施設・設備管理	〈満足度〉98% (※1) ・満足66.3% ・やや満足31.4% ・やや不満1.3% ・不満0% ・未回答1.0%	〈満足度〉90% (※1)	〈満足度〉 96% (※1) ・満足72.7% ・やや満足23.7% ・やや不満2.5% ・不満0% ・未回答1.0%	S	(要望への対応) ロープ遊具修繕に関しては県と協議中であるため、利用者へは丁寧な説明で対応した。	施設・設備に関しては快適性の向上や、公園利用者の満足度アップにつながったと考えられる。 一方で、今回のアンケート結果は前任の指定管理者から引き継いだものであり、設問内容や実施方法の詳細が不明確であるため、評価の妥当性や背景情報の把握に限界がある。また、「使用禁止となっている遊具を修繕してほしい」といった改善要望も見られ、一部設備に対する不満が顕在化している可能性がある。今後は、設備ごとの使用状況や修繕履歴の記録体制を整備するとともに、対応状況の可視化や発信を通じて、信頼性の高い維持管理体制の構築が求められる。			
				〈改善要望〉 ・使用禁止の遊具(ロープ遊具)を直してほしい						
運営業務	接客対応	〈満足度〉100% (※1) ・満足79.9% ・やや満足19.8% ・やや不満0% ・不満0% ・未回答0.3%	〈満足度〉90% (※1)	〈満足度〉 100% (※1) ・満足93.4% ・やや満足6.6% ・やや不満0% ・不満0%	S	(要望への対応)	積極的に利用者への挨拶や声掛けを行った結果、利用者へ良い印象を与えることができた。			
			〈改善要望〉 特になし	(自己評価)		対応の質や丁寧さには職員ごとの差が見られる可能性もあり、今後は均質なサービス提供に向けた接遇研修の実施が課題となる。				
		施設・設備	〈満足度〉92% (※1) ・満足65.3% ・やや満足26.7% ・やや不満4.6% ・不満1.7% ・未回答1.7%	〈満足度〉90% (※1)	〈満足度〉 95% (※1) ・満足74.7% ・やや満足20.7% ・やや不満1.0% ・不満0.5% ・未回答3.0%	S	(要望への対応) 雨天時に遊べる場所が限られているため、利用者が多い場合は収容が困難となるが、雨天時の利用者は非常に少ないため特に対応はしなかった。	現状に不満を持っている利用者は少数のため、施設・設備に関しては現状維持を保てるよう努めた。 天候に左右されず利用できる場所が少ないことから、雨天時対応や全天候型施設のニーズが一定数あることも踏まえ、ビクターセンターの設置・充実化に注力する		
				〈改善要望〉 ・雨の日に遊べる場所を設置してほしい						
	利用条件	〈満足度〉98% (※1) ・満足65.7% ・やや満足32.0% ・やや不満2.0% ・不満0.3% ・未回答0%	〈満足度〉90% (※1)	〈満足度〉 98% (※1) ・満足78.3% ・やや満足20.2% ・やや不満1.5% ・不満0% ・未回答0%	S	(要望への対応) HPを更新する予定があったのだが、年度内に間に合わず、申請書等はメール、FAX、窓口での対応となった。	利用者の満足度は98%とほとんどの利用者が利用条件に不満を感じていない。 一方で、「申請書類をオンラインで取得したい」との意見もあり、今後は申請手続きのデジタル化や情報提供手段の多様化が必要である。			
				〈改善要望〉 ・HPなどで使用申請書をダウンロードできるようにならないか						

自主事業	〈満足度〉69％(※1) ・満足51.2％ ・やや満足17.5％ ・やや不満0％ ・不満0％ ・未回答31.4％	〈満足度〉90％(※1)	〈満足度〉74％(※1) ・満足53.0％ ・やや満足21.2％ ・やや不満0％ ・不満0％ ・未回答25.8％	B	(要望への対応) 自主事業に関して はどれも高い評価を 得ているが、観光で 来園する利用者もい るため、アンケートで は未回答となり満足 度が低下する結果と なっている。 ※未回答を除けば 自主事業の満足度 は100％	自主事業の開催は少な かったが、全てのイベント において参加者からは好 評を得ている。 ただし、未回答が全体の3 割を超えており、満足度 の実態が十分に把握でき ていない点は評価上の課題 といえる。また、「子供向け の内容」や「告知の強化」 を求める声もあり、今後は 対象層を意識した企画と、 事前広報の充実が求めら れる。
			〈改善要望〉 ・子供向けのイベントを開催してほし い ・もう少しイベントなどの告知をしたほ うが良いと思う			
総合評価 (各評価項目の平均)	〈満足度〉86％(※1)	〈満足度〉90％(※1)	〈満足度〉93％	評価 (②満足度)	(自己評価) 総合的に満足度の 高い結果となった。	アンケート結果では、維持 管理業務・運営業務ともに 満足度が高く、接客対応 や施設の快適性、利用条 件などにおいて多くの利 用者から好意的な評価を 得た。一方で、一部設備 の修繕要望や、申請手続 きの利便性、雨天時の利 用環境に関する意見も見 られ、基礎的な満足の裏 にある改善の余地が示さ れた。 自主事業については、開 催数が限られていたこと もあり、全体の満足度は やや低調に見える結果と なったが、実施されたイ ベントの内容には高評価が 集まっている。未回答が 一定数あったことから、回 答率の向上と広報体制の 整備も今後の課題である。 総じて、基本的な管理・運 営の水準は高く評価され ているが、より多様なニ ーズへの対応や情報発信 力の強化、参加機会の拡 充といった点を中心に、 改善に向けた取り組みが 求められる。
				S		

※評価項目については、施設の態様に応じて適宜設定すること。

※「現状分析・課題」欄は具体的に記入すること。

※満足度とは、指定管理者が提供するサービスに対する利用者の満足度のことをいうものとし、回答選択肢のうち、中位を超える割合により算定するものとする。

【評価基準（②満足度）】

総合評価においては各評価項目の満足度の平均
各評価項目においてはそれぞれの満足度

S：90％以上

A：80％以上、90％未満

B：70％以上、80％未満

C：70％未満

Ⅱ．サービスの質 の確認・評価 取組改善案	前年同様、維持管理・管理運営に関しての不満は少なかった。自主事業に対しても不満の声はなく、未回答を除けば満足度は100%であった。結果的には高評価を得ているものと感じられる。 ・満足度の高い基礎業務の維持 接客対応や施設管理、利用条件に対する高評価を維持するため、これまでの対応水準を保ちつつ、担当者間での情報共有・接遇研修等を継続的に実施する。 ・設備・環境面での具体的改善 遊具や雨天時の対応施設に関する要望を踏まえ、対応の優先順位付けや中長期的な整備計画の検討を進める。 ・申請・情報提供の利便性向上 「HPからの書類取得ができない」といった意見に対応するため、各種申請書のオンライン化やFAQの整備など、利用者目線での情報提供手段を改善する。 ・自主事業の拡充と多層的な参加促進 参加者からの好評価を活かしつつ、さまざまなニーズに対応した新規企画を検討し、より幅広い層の参加を促す。 ・広報体制の強化と回答率向上 未回答率の高さを改善するため、広報媒体(SNS・ウェブサイト・掲示等)の整備と併せて、アンケート配布・回収方法の見直しを図る。
-----------------------------	---

※「Ⅱ．サービスの質の確認・評価」の各項目の「現状分析・課題」等を踏まえて、現年度(令和7年度)の主な取組改善案を記入すること。

Ⅲ. 財務状況の確認・評価

1. 収支

(1) 収入

1. 収支		利用者数	令和5年度実績	令和6年度事業計画	令和6年度実績		
(1) 収入			471,946	460,000	465,480	0	
収入項目		令和5年度実績	令和6年度事業計画	令和6年度実績	前年比 (%)	計画比 (%)	特記事項
利用料金収入	有料施設利用料	472,620		359,570			
	お祭り広場	472,620		359,570			
	行為の許可	89373		50460			
	物品販売	0		0			
	写真撮影:動画撮影	89280		50460			
	受け取り利息	93		0			
	興行	0		0			
	その他催し	0		0			
計		561,993	600,000	410,030	73%	68%	
指定管理料 (上乗せ分を含まない各年度当初金額)		45,212,000	45,212,000	45,213,000	100%	100%	
自動販売機収入		2,301,887	2,400,000	2,312,295	100%	96%	R4設置台数:20台 R5設置台数:18台
自主事業収入 ※指定管理料から捻出した取組と自動販売機収入は含めない		1,832,853	1,351,000	1,813,630	99%	134%	
その他収入		0	0	0	#DIV/0!	#DIV/0!	
不可抗力・大規模修繕等(特殊要因)		0	0	0	#DIV/0!	#DIV/0!	
施設修繕費用県補填など(プラス計上分)		0	0	0	#DIV/0!		
施設閉鎖による収入減など(マイナス計上分)		0	0	0	#DIV/0!		
合計(A) ※不可抗力・大規模修繕等を除く		49,908,733	49,563,000	49,748,955	100%	100%	
〈現状分析・課題〉 自主事業収入は前年度に比べ減少傾向にある。利用者数の減少と比例して収入関係は前年度に及ばない結果となっている。 利用者数の減少に伴い、利用料金や自主事業収入が前年度比で減少した項目も見られた。一方で、自動販売機収入など一部の項目では計画比を上回る結果もあったが、全体としては事業計画を下回る傾向にあり、収入基盤の不安定さが課題である。特に自主事業収入は、事業数の減少や広報力の不足も影響していると考えられ、今後は安定的な収益源の確保に向けた取り組みが求められる。							

(2) 支出

支出項目	令和5年度実績	令和6年度事業計画	令和6年度実績	前年比	計画比	特記事項
				(%)	(%)	
人件費	22,756,155	24,340,000	23,505,942	103%	97%	
役員報酬	360,000		360,000	100%		
給与	20,233,000		20,994,589	104%		
手当等	0		30,000	#DIV/0!		
法定福利費(社会保険料等)	2,163,155		2,121,353	98%		
退職手当引当金	0		0	#DIV/0!		
その他	0		0	#DIV/0!		
運営経費	23,277,395	22,372,000	24,040,609	103%	107%	
賃金	0	0	0	#DIV/0!	#DIV/0!	
報償費	0	0	0	#DIV/0!	#DIV/0!	
旅費	189,991		51,900	27%	#DIV/0!	
県内旅費	189,991		51,900	27%		
県外旅費	0		0	#DIV/0!		
需用費	7,208,280	7,376,500	7,633,023	106%	103%	
食料費(会議費)	0	5,000	0	#DIV/0!		
消耗品費	929,768	921,500	736,814	79%		
燃料費	823,753	900,000	1,047,209	127%		
印刷製本費	36,123	50,000	35,408	98%		
光熱水費	5,418,636	5,500,000	5,813,592	107%		
役務費	696,136	680,000	711,426	102%	105%	
通信運搬費	169,323	150,000	177,079	105%		
広告料	0	5,000	0	#DIV/0!		
手数料	25,993	20,000	35,607	137%		
施設賠償責任保険料等	395,200	400,000	395,200	100%		
自動車損害保険料	105,620	105,000	103,540	98%		
委託料(金額上位3項目+その他まとめ)	10,936,440	10,797,500	11,007,370	101%	102%	
使用料及び賃借料	1,666,320	1,002,000	1,638,520	98%	164%	
備品購入費	0	1,000	0	#DIV/0!	0%	
負担金	14,600	15,000	14,600	100%	97%	
公租公課(納付消費税を除く)	2,565,628	2,500,000	2,983,770	116%	119%	
その他支出	0	0	0	#DIV/0!	#DIV/0!	
施設修繕費 ※不可抗力・大規模修繕等を除く	2,080,074	2,000,000	2,476,809	119%	124%	
不可抗力・大規模修繕等(特殊要因)	0	0	0	#DIV/0!	#DIV/0!	
合計(B)※不可抗力・大規模修繕等を除く	48,113,624	48,712,000	50,233,60	104%	103%	

〈現状分析・課題〉

物価高騰の影響により、支出に関する項目においては前年比を上回っている。

また、同上の理由により国内の観光利用が減少傾向にある。利用者数の減少に伴い消耗品の支出はやや抑え気味となっている。

物価上昇の影響を受け、資材費や人件費を中心に多くの費目で支出が計画を上回った。とりわけ、修繕・管理委託費や消耗品等の需用費に関しては、前年と比較しても増加傾向にある。一方で、一部の変動費は抑制されたが、全体として支出総額の増加が事業収支の圧迫要因となっている。今後は支出項目の見直しと優先順位付けが必要である。

※「事業計画」欄は、当初の年間事業計画を記載するものとし、変更した場合には変更後の内容も記載すること。

※「現状分析・課題」欄は具体的に記入すること。

2. 経営分析指標

評価指標	令和5年度実績	令和6年度事業計画	令和6年度実績	前年比	計画比	特記事項
				(%)	(%)	
事業収支(C) (収入(A)－支出(B))	1,795,109	851,000	-274,405	-15%	-32%	
収益率 (事業収支(C)／収入合計(A))	3.6%	1.7%	-0.6%	-15%	-32%	
利用料金比率 (利用料金収入／収入(A))	1.1%	1.2%	0.8%	73%	68%	
人件費比率 (人件費／支出(B))	47.3%	50.0%	47.0%	99%	94%	
外部委託費比率 (外部委託費合計／支出(B))	22.7%	22.2%	22.0%	97%	99%	
利用者あたり管理コスト (支出(B)／利用者数)	101.9	105.9	107.5	105%	101%	
利用者あたり自治体負担コスト (指定管理料／利用者数)	95.8	98.3	97.1	101%	99%	
〈現状分析・課題〉 前年度より利用者が減少しており収益率も比例している。 利用者数の減少と支出の増加により、収益率が大きく低下し、事業収支は赤字に転じた。また、外部委託費比率や人件費比率はほぼ想定内に収まっているが、利用者あたりの管理コストおよび自治体負担が増加しており、経営の効率性に課題がある。安定的な収支構造に向けて、収入増加と支出抑制の両面から対策を講じる必要がある。						

※「事業計画」欄は、当初の年間事業計画を記載するものとし、変更した場合には変更後の内容も記載すること。

※「現状分析・課題」欄は具体的に記入すること。

評価(③財務状況)	B
-----------	---

【評価基準 (③財務状況)】
 収益率 (事業収支／収入合計)
 A : 0%以上
 B : -5%以上、0%未満

Ⅲ. 財務状況の確認・評価 取組改善案	物価高の影響が如実に現れた年であった。国内観光利用客の減少、修繕費・材料費、人件費の高騰など、支出の額が上がっており影響を受けていることがわかる。 令和6年度は物価高騰や人件費上昇の影響が大きく、支出の増加と観光需要の減少が収益性に直接影響した年となった。今後は、変動費の適正化とともに、利用者の回復を見据えた収入面での改善努力(例:自主事業の見直し、新たな収益機会の創出)が不可欠である。また、経営分析指標を定期的に確認しながら、持続可能な運営体制を構築していくことが求められる。
------------------------	---

※「Ⅲ. 財務状況の確認・評価」の各項目の「現状分析・課題」等を踏まえて、現年度(令和7年度)の主な取組改善案を記入すること。

【経営分析指標の評価の考え方】

評価指標	計算方法	評価の考え方
事業収支	収入－支出	事業収支がマイナスの場合、継続性の面で課題となるため、県、指定管理者で協力して黒字化のための方策を協議する必要がある。 ※計画や過年度実績に対し変動がある場合には、その要因を整理すること。
収益率	事業収支／収入	計画、過年度実績、類似施設と比較して、安定したものとなっているか、適切な範囲内となっているか確認する。 ※計画や過年度実績に対し変動がある場合には、その要因を整理すること。 ※計画等に対し上昇している場合、必要な変動費が十分に充てられているか確認すること。また、計画等に対し減少している場合、当初の収支見込が適切であったか精査すること。
利用料金比率	利用料金収入／収入	指定管理者の主な収入源がどこにあり、それが安定したものであるのかを確認する。 ※過年度実績に対し増減がある場合には、利用料金そのものの増減によるものか、自主事業等その他収入の増減によるものかなど、その要因を整理すること。
人件費比率	人件費／支出	過年度実績や類似施設と比較して、適切な範囲内となっているか確認する。 ※変動がある場合には、人件費そのものの増減によるものか、その他支出項目の増減によるものか、その要因を整理すること。 ※人件費の減少がある場合には、それにより効率が低下していないかを確認する。また、人件費の増加がある場合には、求められる管理水準に対し必要な措置が確認すること。
外部委託費比率	外部委託費合計／支出	過年度実績や類似施設と比較して、適切な範囲内となっているか確認する。 ※増減がある場合には、外部委託の範囲が仕様書等に定める適切な範囲内となっているか、外部委託の活用が業務の効率化に繋がっているか確認する。
利用者あたり管理コスト	支出／利用者数	利用者1人に対する管理コストについて、過年度実績や類似施設と比較することにより、当該施設の効率性を確認する。(コストが抑えられていても利用者が減少していないか、あるいは利用者は増加しているがコストがかかり過ぎていないかなど) ※変動がある場合には、その要因を整理すること。 ※過年度に対し上昇している場合、現状の利用者数に対して支出が過大になっていないか確認する。また、過年度に対し減少している場合、現状の利用者数に対し、必要な変動費が十分に充てられているか確認する。

利用者あたり自治体負担コスト	指定管理料／利用者数	利用者1人に対する県の財政負担を確認する。 過年度実績や類似施設との比較により、当該施設の効率性を確認する。
----------------	------------	---

Ⅳ. 総合評価

1. 目標

評価項目		評価指標	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	目標設定の考え方
成果指標	①利用状況	利用者数	470000人	470000人	470000人	470000人	令和7年度の利用者数目標は470,000人とする。これは、令和5年度(472,288人)および令和6年度(465,480人)の実績を踏まえ、過去2年の水準を維持する形で設定したものである。 なお、本目標値は、従来のカウント方法を踏襲した前提に基づくものであるが、現行の集計手法には概算的な要素が多く、正確性に課題が残る。今後は、カウント方法の見直しを予定しており、その際には実績値が過年度と大きく乖離する可能性がある。そのため、令和8年度以降の目標設定にあたっては、精度の高い集計方式を前提とした再検討を行う方針である。
	②満足度	満足度	91%	91%	91%	91%	令和7年度の満足度目標は91%とする。これは、令和5年度および令和6年度においていずれも91%を記録した実績を踏まえた維持目標であり、引き続き高いサービス品質を維持することを目指すものである。 一方で、アンケート結果には一部未回答が多かった項目や、自主事業に関する意見の偏りが見られるなど、評価の正確性や参加者の代表性には課題が残る。今後は、回答率の向上や設問内容の見直しを含めたアンケートの改善を図るとともに、より多様な利用者層の声を反映できる仕組みづくりを進める必要がある。
財務指標	③財務状況	収益率	1.00%	1.00%	1.00%	1.00%	令和7年度の収益率目標は1.0%とする。令和6年度は物価高騰や人件費の上昇、観光利用の減少といった複合的な要因により、事業収支は微減となり、収益率は実質0.0%（マイナス圏に近い水準）にまで低下した。こうした状況を踏まえ、令和7年度は大幅な収支改善を見込むのではなく、まずは収益性の回復と黒字化の確保を重視した、現実的な目標値として1.0%を設定するものである。今後は、自主事業収入や付帯収益の拡充、支出構造の見直し等を通じて、収益力の底上げを図るとともに、継続的な財務モニタリングを通じて収支の安定化に努める。

2. 評価結果

評価項目		評価指標	令和5年度実績	令和6年度事業計画 (目標値)	令和6年度実績	前年比	計画比	現状分析・課題	評価 (点数)	取組改善案	令和7年度 目標値
成果指標	①利用状況	利用者数	472,288人	460,000人	465,480人	99%	101%	学校行事(遠足など)他、インバウンドの観光利用など多くの公園利用があり、一見全増加の様に思えるが物価高の影響による国内観光利用の旅行控え等もあり、わずかに目標値は上回っているが実績は前年度を下回る結果となっている。	A (10)	令和6年度の利用者数は465,480人で、前年をわずかに下回る結果となったが、事業計画比では100%を上回った。天候不良や物価高騰に伴う国内観光需要の落ち込みなど、外的要因による影響が一定程度あったものと考えられる。今後は、現行の利用者カウント方法について精度面での課題があることから、その見直しを含めた検証を進める。また、平日昼間や雨天時の利用促進に向けた企画を検討し、年間を通じた安定的な集客を目指すとともに、地域連携によるイベント実施や広報活動を強化し、利用者層の拡大につなげていく。	470000人
	②満足度	満足度	86%	90%	93%	108%	103%	アンケートの結果、施設・設備管理や管理者に関する不満の声は少なかった。一方、自主事業に対する未回答は案の定多く、前年度に続き満足度低下の要因となった。	S (20)	アンケート調査の結果、接客対応や施設の清潔さなどに関して高い評価が得られ、満足度は前年度と同様の91%を維持した。一方で、自主事業に関しては未回答が多く、回答の偏りや自由記述に見られる要望への対応が今後の課題として残された。これを踏まえ、アンケート設計や実施体制の見直しにより回収率を高めるとともに、多様な層の意見を反映できる手法の導入を検討する。また、自主事業の内容と広報方法を再考し、幅広い利用者層への参加促進と満足度の向上を図る。設備面での具体的な要望については、対応方針を丁寧に説明する体制を整備する。	91%
財務指標	③財務状況	収益率	3.6%	1.7%	-0.6%	-0.1667	-35%	さまざまな物価が高騰している現在、節電などの省エネ意識をより一層高める。今後も修繕費等の見直しや、適切な備品購入によるコスト削減にも努める。	B (0)	令和6年度の収益率は0.0%となり、物価上昇や人件費の増加といったコスト要因の影響により、財務収支は厳しい状況となった。支出項目では修繕費や資材費、外部委託費が増加傾向にあり、費用対効果の観点からの見直しが求められている。今後は、支出の適正化に取り組むとともに、自主事業や物販収入などの収益機会を広げ、収入面での改善を図る。加えて、経営分析指標を活用した定期的なモニタリングにより、早期に財務の変動を捉え、迅速な対応を可能とする体制を整える。	1%
活動指標	④重点取組事項	利用者に対するアンケート回収率	0.04%	0.05%	0.07%	149%	120%	管理者巡回時における利用者への直接アンケート、開催しイベント内にてアンケート実施に頼る結果となった。しかし、公園利用者も増えたことにより前年度以上に回収数が増加し、目標値にも達成することができた。今後も巡回時の直接アンケートに加え、イベント等にて、より多くの利用者から意見や要望を収集する。	A (5)	令和6年度は、管理者による巡回時やイベント開催時を活用し、来園者からの直接アンケート回収を行った結果、前年度を上回る回収数を確保することができた。しかしながら、回収率としては依然としてごく一部の来園者に限られており、属性の偏りや自由意見の収集不足といった課題も見受けられた。今後は、アンケート配布方法や回答手段の多様化(QRコード導入、Webフォーム併用等)を進め、より幅広い利用者からの意見を収集できる体制を整備する。また、イベント時に限定せず、常設の意見収集ボックスやサイネージ端末の設置等も含め、来園者の声を日常的に把握できる仕組みづくりを検討する。	0.05%
総合評価									A (35)	維持管理業務は適切に行ってきたが、当公園は経年劣化により専門業者による大規模修繕を要する箇所が多数あり、専門家、指定管理者との連携により利用者の安全の為に適切な維持管理が必要である。運営業務に至っては、これまで同様、適正な情報管理を行い、広報活動においても多くの市民や利用者へ正しい情報発信を行ってきた。自主事業イベントに関しても、感染症の動向を警戒しながら開催し、少しずつではあるが利用者の満足度向上に繋げる事が出来た。	

※重点取組事項の「評価指標」には具体的な取組内容を記載すること。

※「総合評価欄」には、モニタリングの実施結果に基づき、施設の管理運営が適正に行われているか所見を記載すること。

※「現状分析・課題」、「取組改善案」は6－Ⅰ～Ⅲから転記する。

※「令和5年度目標値」は、「取組改善案」を踏まえ、現年度の目標を可能な限り数値目標として設定する。

【評価基準】

①利用状況

目標値に対する達成率

S：110%以上

A：100%以上、110%未満

B：80%以上、100%未満

C：80%未満

②満足度

総合評価における満足度（各評価項目の平均値）

S：90%以上

A：80%以上、90%未満

B：70%以上、80%未満

C：70%未満

③財務状況

収益率（事業収支／収入合計）

A：0%以上

B：-5%以上、0%未満

C：-5%未満

④重点取組事項

目標に対する評価

S：目標を大きく上回る

A：目標を概ね達成

B：目標を下回る

C：目標を大きく下回る

【各評価項目点数】

	① 利用状況	② 満足度	③ 財務状況	④ 重点 取組事項
S	20	20	—	10
A	10	10	5	5
B	0	0	0	0
C	-10	-10	-5	-5

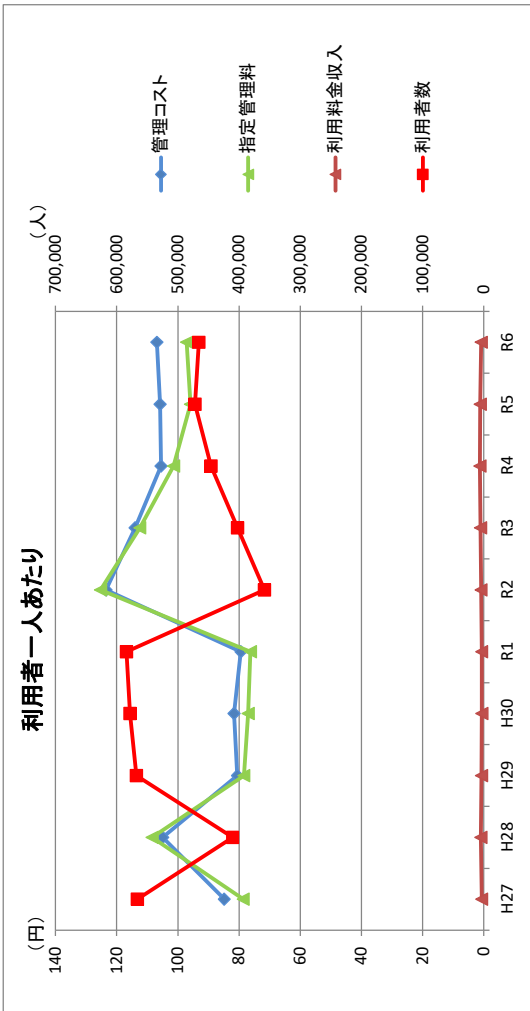
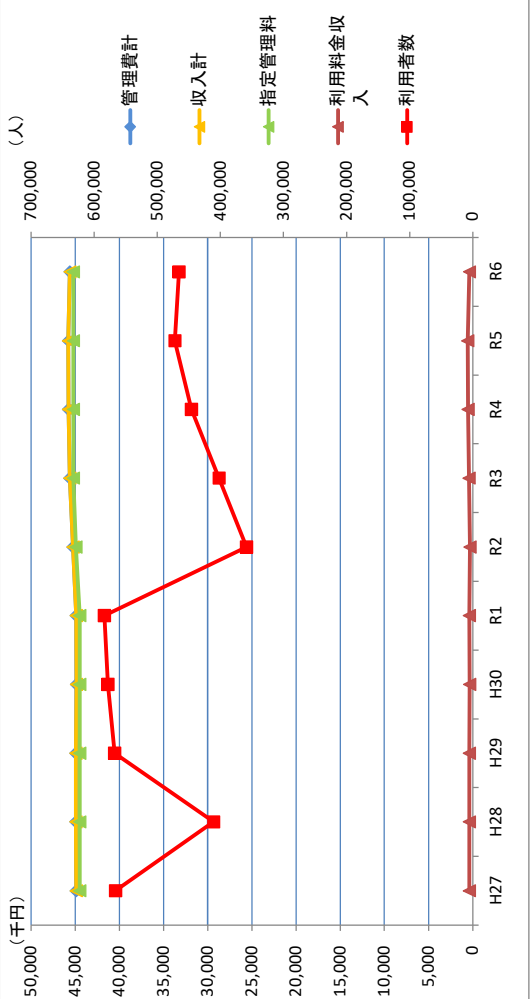
【総合評価基準】

	総合評価基準
S	40点以上 かつ各評価項目において C評価がないこと
A	25点以上
B	10点以上
C	5点以下

経営状況分析シート【施設名称:県営バナナ公園】

指標		直営										指定管理												
		単位	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8
成果指標	利用者数	目標																						
		実績																						
		目標比																						
		H17比																						
財務指標		指定管理料※上乗せ分を含まない	千円																					
		県負担割合(指定管理料／管理費計)	%																					
		利用料金収入	千円																					
		利用料金比率(利用料金収入／収入計)	%																					
		自販機収入	千円																					
		自主事業収入※自販機収入以外	千円																					
		その他収入	千円																					
		収入計※不可抗力・大規模修繕を除く	千円																					
		管理費計※不可抗力・大規模修繕を除く	千円																					
		収支	千円																					
/単位		収益率(収支／収入計)	%																					
		一人あたり管理コスト	円																					
		一人あたり指定管理料	円																					
		一人あたり利用料金収入	円																					

※施設の特性に応じて、経営状況の分析に適した指標の追加・削除や、表示方法の修正を行うこと。
※グラフは直営10年間の実績で作成すること。指定管理者制度導入前に直営の期間がある施設については、指定管理者制度導入直前1年間のデータも含めて作成すること。



実績変動の要因分析

令和6年度	物価高騰の影響により収入は減少傾向。支出に関する項目においては前年比を上回っている。また、同様の理由により国内観光も含め利用者数も減少傾向にある。
令和5年度	令和5年度の利用者数は順調に目標人数を超える数字となっている。令和6年度の利用者数はそれに近い利用者数が見込まれる。収益率を向上させる為、消耗品等の支出を抑えて経費削減に努める。
令和4年度	公園利用者数は前年度よりさらに回復。自主事業収入は前年度より上がっているので収益率に繋げたい。
令和3年度	公園利用者数も前年度より回復。収支が前年度よりマイナス計上になった。燃料・人件費等の高騰によるものと推測。